

機能水ニュースレター No. 129

2026年1月19日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

| | | |
|------|-----------------------------------|---|
| 年頭挨拶 | 機能水研究振興財団 | 1 |
| 報告 | 日本電解水協会第16回電解水セミナー | 2 |
| | 第7回Hospital Water Hygiene研究会 学術集会 | 2 |
| お知らせ | 生物安全実践講習会第7回実践コースB | 3 |
| | 第27回日本口腔機能水学会学術大会 | 3 |

機能水関連カレンダー

| | | |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| 生物安全実践講習会実践コースB | 2026年2月25/26日(水/木) | 北里大学相模原キャンパス |
| 第27回日本口腔機能水学会学術大会 | 2026年2月28/3月1日(土/日) | 日本大学歯学部本館(東京) |
| 第15回HCCP導入のための迅速検査実習 | 2026年2月27日(金) | 神戸学院大学有瀬(キャンパス(神戸)) |
| 第53回迅速検査研究会講演会 | 2026年3月10日(火) | 板橋区立文化会館(東京) |
| ifia/HFE JAPAN 2026 | 26年5月27~29日(水~金) | 東京ビッグサイト西ホール |

<報告>

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年は世界各地で無謀な紛争が続いた年でしたが、一方では、関西万博の大成功、ドジャースの大谷翔平選手の大活躍や二人のノーベル賞受賞（北川進京都大学特別教授の化学賞、阪口志文大阪大学特任教授の生理学・医学賞）など明るい話題に沸いた年でもありました。午年の今年には世界平和に向かって躍動する年となることを祈っております。

さて、当財団では機能水業界の更なる発展を目指して各種の事業活動を展開しており、2025年度は主に以下のような成果を挙げることができました。関係各位の皆さまのご支援・ご協力に厚く感謝申し上げます。

- 機能水記念賞： 当財団設立30年を機に、機能水分野の振興に関して公益性または共益性の高い功績を挙げた個人または団体を表彰する新事業として設立し、第1回（2024年度）は日本電解水協会に授与いたしました。2025年度（第2回）は、推薦に基づく審議の結果、アルカリイオン整水器協議会に授与することが決まり、授賞式を2026年3月2日にプラザエフ（東京四谷）で行うことになりました。
- 次亜塩素酸水に関する新しい知識の取得と広報： 高純度次亜塩素酸水に関する研究が進み、食物アレルギー除去効果、ヒトノロウイルス不活化効果、次亜塩素酸分子の安定性とその要因などが明らかとなり、学術論文発表とともに ifia/HFE JAPAN 2025 などにおいて広報を行った。
- 生物安全実践講習会： ルイ・パストゥール医学研究センターとの共同公益事業として実施しています。2024年度は実践コースBを2回（関東と関西）、実践コースAを1回（山口）、基盤コース1回（東京）を開催。2025年度は、実践コースBの2回（関西と関東）を実施しています（関東の場合は、北里環境科学センターを含めた共同公益事業として開催しています。第7回案内を3頁に掲載）。

本年もワンヘルス、公衆衛生、HACCP、SDGs等を念頭に、各種公益事業等の活動を展開し、機能水の科学的・社会的信用の向上に向けて広報活動に注力してまいります。替わらぬご理解ご支援の程お願い申し上げます。

(一財)機能水研究振興財団理事長 堀田国元

＜報告＞

第 16 回日本電解水セミナー

2025 年 11 月 20 日（木）午後、東京都 品川区立総合区民会館（きゅりあん）にて約 70 名の参加を得て開催された。石渡幸則会長による開会挨拶の後、先ず、「長年にわたる電解水協会発展への寄与と電解水の普及への貢献」に対して感謝状と記念品が（一財）機能水研究振興財団（堀田国元理事長、中藤誉子事務局長）に贈呈された。続いて以下の講演が行われた。



基調講演「ネクストステージに向けて次亜塩素酸水を問い直す」

堀田国元 機能水研究振興財団理事長

教育講演「食物アレルギー除去における各種次亜塩素酸水の効果－卵白を例として－」

渡辺香織 愛知文教女子短期大学生活文化学科食物栄養専攻教授

講演 1 「世界初のノロウイルス不活化試験キットによる電解水の有効性評価」

須賀新太郎（株）プロテックス 企画開発事業部課長

講演 2 「使用済み電解槽リサイクルワンストップソリューション」

花岡 俊（株）花岡金属商会 代表取締役

基調講演では、酸性電解水（次亜塩素酸水）が生成装置とセットで食品添加物殺菌料に指定された経緯や意義、生成装置の JIS 規格化に向けての取り組み、また、ネクストステージに向けた展望として「次亜塩素酸水の高純度化と標準品確立の可能性」「次亜塩素酸の分別定量法（BDD 電極法）の確立」、さらに次亜塩素酸水の「社会貢献や国際化に向けたビジョン」について紹介された。

教育講演では、「各種次亜塩素酸水による調理台付着卵白アレルギーの除去検証・効果」についての解説とともに、「簡単に誰でもミスなく行えるアレルギー除去の作業管理・工程管理の開発」が研究の最終目標と述べられた。

講演 1 では、試験の簡略化と時間短縮を目指して開発したノロウイルス不活化試験キット「ノロウイルス粒子測定キット」による電解水の有効性評価の有用性が報告された。

講演 2 では、電解槽のリサイクルという切り口で資源の有効利用の可能性が紹介された。

第 7 回 Hospital Water Hygiene 研究会 学術集会

「改めて見直す水関連病原微生物の脅威」をテーマに、2025 年 11 月 16 日（日）午後、東京科学大学蔵前会館において約 80 名の参加者を得て開催され、レジオネラ対策を中心課題として、招待講演、シンポジウム 1 & 2、および一般演題（5 演題）が行われた。オンデマンド配信中：<https://fs.lck-cloud.jp/u13673/eventinfo/>

招待講演：座長：中村造 HWH 研究会会長（東京医科大学病院 感染制御部・感染症科 准教授／副部长）

Susanne Surman-Lee 博士（Public Health Microbiologist, Director Ltd. UK）

Rethinking Healthcare Water Systems: Minimizing the Risk from *Legionella* and Other Biofilm-Associated Waterborne Pathogens in the Changing Climate

シンポジウム 1 国内事例：座長：中村麻子（国際親善総合病院 感染防止対策室 副室長）

組織で取り組むレジオネラ症防止対策の実際 森岡 深雪（大船中央病院 感染管理室）

シンポジウム 2 設備・管理・対策：座長：縣 邦雄（アクアス株式会社 技術顧問）

レジオネラ症の発生動向と集団感染事例：土橋西紀（JIHS 国立感染症研究所応用疫学研究センター）

レジオネラ症防止指針第 5 版：安齋 博文（公益社団法人 日本建築衛生管理教育センター 調査研究部）

一般演題：座長：笹原 鉄平（自治医科大学附属病院 感染制御部部長・教授）

- ・医療施設におけるポイントオブユースウォーターフィルタ用いた水質評価：川元 洋子（Cytiva 応用技術研究所）
- ・ハンドドライヤーの衛生性について：入江 恭亮（TOTO 株式会社 機器水洗事業部 機器商品開発部）
- ・給湯・給水系のレジオネラ汚染の調査方法：井上 浩章（アクアス株式会社 つくば総合研究所）
- ・次亜塩素酸ナトリウム噴霧数増加による排水ログラム陰性菌検出率低下：山口大（東京医科大学病院 感染制御部）
- ・局所式給湯設備のレジオネラ属菌対策に着目した衛生管理：安齋博文（公社）日本建築衛生管理教育センター

(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター・(一財)機能水研究振興財団・(一財)北里環境科学センター
共催



生物安全実践講習会

第7回 実践コースB

日程： 令和8年 2月25・26日(水・木) 2日間(両日9:00～17:00)

会場： (一財)北里環境科学センター／北里大学 L2号館
[アクセス] JR相模原駅・小田急線相模大野駅よりバスで約30分

内容： **病原微生物の取扱い・管理のために必要な
法令を含めた先進的知識と技術に関する座学と実習**

詳しくは下記URLを参照ください

<https://kinousui-zaidan.wixsite.com/seibutuanzen>

受講料： 1名 35,000円 (定員24名;座学および実習テキスト事前配布)

申込み： 上記URLの「開催案内」より

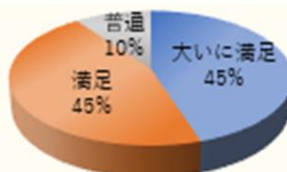
事務局： (一財)機能水研究振興財団内 (pbf@fwf.or.jp)



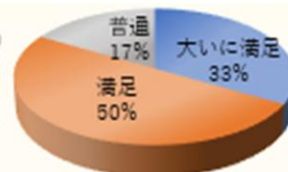
<これまでの受講生の声>
講習会満足度

※HPにダイジェスト動画掲載中

「座学」



「実習」



第27回日本口腔機能水学会学術大会

メインテーマ： 「DX時代の歯科医療における口腔機能水の役割 — シンプルだからこそ強い技術」

サブテーマ： デジタル化が進むほど重要になる低侵襲・簡便・即効性

医療資源・コスト・環境負荷の観点も包含

大会長 浅野正岳先生 (→山本安希子先生) 日本大学歯学部

期日・会場： 2026年2月28日(土)・3月1日(日)・日本大学歯学部本館(東京都千代田区神田駿河台1-8-13)

参加費： 会員:事前6千円(当日7千円)、非会員:事前7千円(当日8千円)、学生3千円

懇親会： 8千円

申込み： 日本口腔機能水学会HPより

事務局： 東京都文京区本郷2-31-2 TEL:03-6240-0179 FAX:050-3730-8505

<プログラム> (最新情報は、<https://kinousui.com/conference2026/> を参照ください)

第1日 (2月28日)

- 13:45 【教育講演】「機能水概論」 座長：岩本宏 先生
堀田国元 先生 (一般財団法人機能水研究振興財団 理事長)
- 14:40 【特別講演】「口腔の保護と治癒～アクアポリンの多彩な機能」 座長 川上智史 先生
吉垣純子 先生 (日本大学松戸歯学部 教授)
- 15:30 【ブリーフィング】
(株) シケン、(一社) 日本先制臨床医学会、(一社) 日本臨床培養上清研究会、
東洋厚生製薬所 (株)
- 16:30 【特別講演】「美術館を回診する」 座長 寺山隼人 先生
早川智 先生 (日本大学総合科学研究所 教授)
- 18:00 懇親会

第2日 (3月1日)

- 【一般口演】 座長 藤巻弘太郎先生・川村浩樹先生
- 9:05 1. 歯科ユニット給排水系汚染に関する簡易モニタリングとその対策1 井上一彦 先生
- 9:20 2. 歯科ユニット給排水系汚染に関する簡易モニタリングとその対策2 渥美克幸 先生
- 9:35 3. 歯周病患者の口腔乾燥と唾液のpHと異所性石灰化との関係 石川佳和 先生
- 10:30 4. 人工バイオフィルムを用いた高純度次亜塩素酸水の口腔環境改善効果のメカニズムの解明 佐藤勉 先生
- 10:45 5. 舌苔除去における機械的刷掃法とOUFBW併用した改善例(症例報告) 杉澤満 先生
- 11:00 6. アルカリ性電解水溶媒培地が筋芽細胞培養に及ぼす影響 寺山隼人 先生
- 11:15 休憩
- 12:00 ランチョンセミナー：株式会社アミタ 座長 川上智史 先生
- 13:20 総会
- 14:00 【特別講演1】「剥離性歯肉炎女性患者に対するエクオール・サプリメント」 座長 網中雅仁 先生
川本亜紀 先生 (日本大学歯学部附属歯科病院歯科衛生室)
- 14:30 【特別講演2】「アクア酸化水から始まり強酸性電解水、次亜塩素酸水に」 座長 井上一彦 先生
岩澤篤郎 先生 (東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 教授)
- 15:20 休憩
- 16:00 【特別講演3】「口臭分類とその治療について 機能水利用の一考察」 座長 西田哲也 先生
音琴淳一 先生 (松本歯科大学 教授)

訃報 浅野正岳先生急逝

本年1月1日、日本口腔機能水学会会長の浅野正岳先生が急逝されました。2月28日・3月1日に開催される第27回日本口腔機能水学会の大会長を引受けておられました。12月の開催準備会のときはお元気そうでしたので、まさに青天の霹靂で非常に悲嘆にくれております。ご家族や講座の先生方の悲痛さを思うと言葉になりません。今はただ浅野先生のご冥福を心からお祈り申し上げる次第です。合掌



しかし、前へ進まなくてはなりません。日本大学病理学講座教授の重責の立場で、学会長と大会長を快く引き受けてくださり、大会成功に向けて私たちに伝わっていた浅野先生の意欲に応えることが、浅野先生への供養と思っております。学会理事会での協議の結果、大会長は日本大学歯学部病理学講座准教授の山本安希子先生が引受けてくださることになりました。大会が滞りなく成功できますよう、実務的な連絡・調整は副会長の私(井上一彦)と事務局が代行させていただきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日本口腔機能水学会副会長 井上一彦